

# 日本のお菓子における香港輸出のポテンシャル

講演者： 株式会社新杵堂 代表取締役会長 田口和寿 様

## 講演概要

「輸出に取り組むために考えたこと」をテーマに、実際に田口様が輸出チャレンジ時に取り組んだこと（成功談～失敗談まで）をお話いただいた。輸出をスタートする際に気になる「リスク」のパートや、効率的な広告・販売促進の取り組みとして「SNSを活用した取り組み」のパートは特に参加者の興味が引かれ、参加事業者から複数の質疑が行われた。

## 講演者プロフィール

修行のために単身でニューヨーク・パリに渡る。楽天でチーズケーキをモチーフにしたお菓子「栗ふわふわ」を大ヒットさせ、23か国でお菓子販売している年商**25億円**の会社に成長させた。会社の企業理念は「お菓子で人々を幸せにする」。17～23か国へ商品を提供し、その展開商品数は23～42種類に及ぶ。販売比率は世界62%：国内38%。

## セミナー要約

### I. 輸出に取り組むために考えたこと

#### ～マーケット・インの商品開発とこだわりの付加価値～

日本にいるときは「私たちが作りたいお菓子」という方針でお菓子を作っていたが、輸出するときは「世界のお客様が食べたいお菓子・手に取りたいお菓子・買いたいお菓子」に重点をおいて商品開発を行っている。新しい商品を繰り返し生み出すことで、「飽きさせない」という循環を考えることが重要。原料調達のござわり・輸入規制・冷凍技術のござわり・供給量確保の為の設備投資など、マーケット・イン

（一例：まるごとみかん大福 ～日本の原料（果実）を使用したスイーツ）

#### ～海外輸出におけるリスク～

「世界で売る」ということにおいては多くの「リスク」が存在する。お金・商品・訴訟・言語のリスクなど。その全てを潰すことは難しいと考えている。また、税制をはじめ、販売方法・消費者の嗜好・宗教など目まぐるしいスピードでマーケットが激変していく。国際訴訟の問題も、新しい取組においては表裏一体。

#### ▼対応策▼

- リスクに対応するというよりは、その国に合わせて製造事業者が変わっていくという姿勢を持つこと。
- 社内で貿易チームを作ることを徹底する。（ハラル認証取得、FSSC22,000世界基準の取得、FDA対応など）
- 訴訟は「必須事項」と捉え、危険を察知する力を養う。（現地の子会社を作る、実際に現地に足を運ぶなど）

⇒ **全て自分たちで完結しようとは考えず、現地と連携をしながら輸出を行っていくことが重要。**

#### ～FSSCをこれから目指す事業者へメッセージ～

精神的にも物理的にも大変だが、取得した暁には「世界のどこにでも販売できる」ことになる為、意義があること。

（企業・バイヤーからも声がかかるケースも。）

#### ～SNSを活用した取り組み～

方針として「**広告費・販促費をほぼ使わない**」という形でプロモーションを行っている。

現地のメディアと連携し、YouTube、TikTokなどを活用して、消費者にダイレクトへ届ける手法を使っている。

（良いこと）テレビ局、ホームショッピングの会社から声がかかり、無料で出店できる場合がある。

（悪いこと）評論される。厳しい意見を浴びることも。

ポイントは**現地で発信**すること。日本からの投稿よりも現地への認知度向上・リーチされる角度が上がっていく。

### II. 香港輸出の取組

#### ～香港のスイーツ市場～

販売チャンネルに固定観念を持たず、**いろいろな企業のマーケットで販売**することが大切。

（Maxim Groupの高級寿司店や、美容院の顧客に対して食べて頂くなど、異なる分野のマーケットで）

お菓子を食べるつもりで来ていない消費者に対して食べて頂けることで、幅の広い意見が引き出せる。それをまた異なる国へ展開することで、新たな発見が生まれることも。

#### ～輸出に取り組んだ効果～

お菓子はどこでも販売できる、ポテンシャルを秘めている素材。

**海外で輸出実績があると、国内でも販売が増えるという「逆輸入」の好循環もある。**

#### ③輸出に取り組むために考えたこと①

マーケット・インの商品開発とこだわりの付加価値

- ・原料調達のござわり
- ・輸入規制
- ・冷凍技術のござわり
- ・供給量確保のための設備投資
- ・商品の仕様
- ・賞味期限を1年に
- ・商品選定の多さに
- ・OEM生産を可能に
- ・新しい商品を常に生み出す



香港で展開する「華御結」



## まとめ

どこの国でも、日本のお菓子は美しい・美味しいので、売れるという体感を持っている、皆様も是非、どこかでご一緒できればというメッセージを頂戴した。

セミナーのアーカイブはこちらよりご覧いただけます。

